



2010年4月

さくら

発行：偕行会透析医療事業部 さくら編集委員会

いろいろな頭痛

海部共立クリニック 羽切 正代

みなさんこんにちは。2009年4月より海部共立クリニックに常勤医として勤務しております羽切と申します。セントラルクリニック、リハビリテーション病院透析室にも勤務させていただいております。今回は、“慢性頭痛の豆知識”を皆様にお伝えしたいと思い筆をとりました。



【はじめに】

透析を受けておられる方は、透析と関連のある頭痛のことは良く御存知のことと思いますが、実際には、私たちの“頭痛の種”となる慢性頭痛には、透析とは直接因果関係のないものも色々あります。慢性頭痛は往々にして、“日常茶飯事”であり、“一般的な鎮痛剤を内服すればなんとかなる”ことが多いため、原因について振り返ることは少ないかと思えます。しかし、自分の頭痛についてよく知ることによって、不安が軽減したり、より良い予防法や治療法につながる場合があります。今回は、透析と直接関連のない慢性頭痛を主に取り上げましたので、御参考にさせていただければと思います。

【透析と関係がある頭痛 その①】

透析不均衡症候群

透析導入期などに、透析後に頭痛が生じることがあります。これは、BUN（尿素窒素）などの尿毒症物質の急激な除去によって、脳がむくんだり、脳圧が上昇することが原因ではないかと言われています。高Na透析液・重曹透析液の使用、グリセオールという点滴などで対応します。透析導入期には、個々の患者さんの症状に合わせ、膜面積の小さいダイアライザーを使用したり、低血流量、短時間頻回透析の実施を検討したりします。

【透析と関係がある頭痛 その②】

高血圧、定期内服薬（血圧の薬など）が原因で頭痛が生じることがあります。主治医、スタッフに必ず相談して下さい。